

## IOI(IOIB)

### 「5カ年戦略ロードマップ」で4つの戦略優先事項。プロダクト依存からブランド主導の成長モデルへ転換を図る

#### マレーシア | 農産物 | 業績フォロー

BLOOMBERG IOI:MK | REUTERS IOIB.KL

- 2025/6期4Q（4-6月）は、売上高が前年同期比16.6%増。生産量拡大や粗パーム油価格、パーム核価格の国際相場が堅調だった。
- 4QのEBITは2.8%減、PBTが19.7%増。資源ベース部門の不振が本業利益を圧迫したが、外国為替換算差益の大幅増により税引き前利益は堅調。
- EU（欧州連合）で森林破壊と森林劣化に係る「欧州森林破壊防止規則（EUDR）」が発効。欧州によるCPO備蓄の輸入需要が見込まれる。

#### What is the news?

8/28発表の2025/6期4Q（4-6月）は、売上高が前年同期比16.6%増の29.60億MYR、利払い前税引き前利益（EBIT）が同2.8%減の4.20億MYR、税引き前利益（PBT）が外国為替換算差益の大幅増加の寄与により同19.7%増の5.12億MYRだった。生産量の拡大に加え、粗パーム油価格、パーム核価格の国際相場が前年同期比で堅調だったことが増収に寄与したものの、粗パーム油を加工する資源ベース製造部門がインドネシア業者との競争激化を受けて不振だったことが本業の利益を圧迫した。一方で、マレーシア・リンギットの対米ドル相場の回復を受けて米ドル建ての借入れに伴う為替利益が貢献した。前四半期比では、売上高が8.2%増、EBITが13.1%増、PBTが53.0%増だった。

4Qの部門別の、デリバティブ取引その他の一時的要因の影響を除く基礎的営業利益は以下の通り。①プランテーション部門が、前年同期比39%増の4.03億MYR。生産量はFFB（果実の束）が同14%増、平均実現価格はCPO（粗パーム油）が同2%上昇、PK（パーム核）価格が同39%上昇したことが貢献した。②資源ベース製造部門が、前年同期の0.80億MYRから▲0.02億MYRへ赤字転落となった。

#### How do we view this?

森林破壊と森林劣化に関する「欧州森林破壊防止規則（EUDR）」はEU市場で販売、もしくはEU市場から輸出される対象品が「森林破壊に関わっていない」と証明することを義務付けるものである。大企業に対しては2025年末から、中小企業に対しては2026年から適用が開始される予定とされている。これは、欧州諸国を中心にパーム油などを駆け込みで輸入する需要を高める要因になると見込まれる。

同社の資源ベース製造部門においては、オレオケミカル（油脂化学製品）が業界の供給キャパシティが過大の中、原材料価格高騰とマージン縮小の厳しい環境に見舞われている。その一方、スペシャルティ・ファッツ（特殊用途油脂）はココア・バター関連製品を中心に高いマージンを確保できており堅調な推移が見込まれる。

同社グループは2025年1月、「2025-2029年5カ年戦略ロードマップ」を発表。①イノベーションと価値向上（革新的なサステナブル・パーム油製品・成分の開発など）、②運用効率の最適化（プランテーションのデジタル化など）、③サステナビリティの深化、④グローバルリーダーシップの確立（アジア中心から欧米・新興市場への輸出拡大）の4つの戦略優先事項を掲げている。これにより、プロダクト依存からブランド主導の成長モデルへの転換を図るとしている。

#### 業績推移

※参考レート 1MYR=35.95円

事業年度	2023/6	2024/6	2025/6	2026/6F	2027/6F
売上高(百万MYR)	11,583	9,603	11,334	11,423	11,527
当期利益(百万MYR)	1,114	1,109	1,520	1,321	1,329
EPS (MYR)	0.18	0.18	0.25	0.21	0.20
PER (倍)	19.43	19.73	14.75	18.86	19.80
BPS (MYR)	1.80	1.86	1.96	2.08	2.19
PBR (倍)	1.94	1.91	1.88	1.90	1.81
配当 (MYR)	0.11	0.10	0.11	0.11	0.11
配当利回り (%)	3.15	2.67	2.85	2.78	2.78

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成、F=予想はBloomberg)

配当予想 (MYR) 0.11 (予想はBloomberg)

終値 (MYR) 3.96 2025/10/14

#### 会社概要

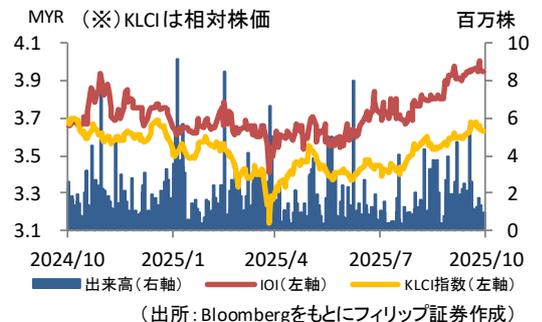
1969年にインダストリアル・オキシジェン・インコーポレーテッドとして設立。世界有数の総合パーム油企業で、上流分野のプランテーションから下流分野までパーム油に係るバリューチェーン全体をカバーしており、プランテーション部門および資源ベース製造部門を営む。

①プランテーション部門は、マレーシアやインドネシアに業界最大級である23万ヘクタール超の農場を有している。実践的な管理手法などから、業界最大のパーム油を算出し、最も効率的な大規模プランテーションを運営している。

②資源ベース製造部門は、精製事業、油脂化学製造（オレオケミカル）事業、特殊脂肪製品事業といった下流分野を担う。世界の顧客のニーズ対応のため、マレーシア、オランダ、アメリカ、カナダに製造施設を有している。加工製品は、世界60か国以上に輸出されている。

#### 企業データ (2025/10/15)

ベータ値	0.95
時価総額(百万MYR)	24,505
企業価値=EV (百万MYR)	26,445
3ヵ月平均売買代金(百万MYR)	6.3



#### 主要株主 (2025/10)

1.PROGRESSIVE HLDS SDN BHD	50.45
2.EMPLOYEES PROVIDENT FUND BOARD	13.07
3.AMANAH SAHAM NASIONAL BHD	6.99

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

#### リサーチ部

笹木 和弘  
 +81 3 3666 6980  
 kazuhiko.sasaki@phillip.co.jp

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL:03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員、国際公認投資アナリスト 笹木和弘

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得る場合があります。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平14.1.25」に基づく告知事項>

- ・本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。